

櫻井 彩子

Sakurai Ayako

真庭でつくるブライダル

「もともとは、母が平成元年から貸衣裳業を始めていたんです。それを継いでからです。仕事としてブライダルに関心を持ったのは」と話すのは櫻井彩子さん。仕事をしていくうちに、衣裳の貸し出しだけでなく、「当日の新郎新婦様の姿が見たい」そう思うようになったと言います。

ブライダルプランナーという仕事に関心を持った櫻井さんは、挙式の知識、コーディネートなどの知識、美容などの関連業務の知識、見積作成などのプランニング知識を勉強し、プランニングを行うようになりました。しかし、櫻井さんには他にも挑戦したいことがありました。

真

MANIWA BITO

庭人

「真庭にはいろいろな人がいて、みんなで力を合わせれば、真庭のものだけでブライダルができるはず。ずっとそう思っていました」。その思いは、同じ志を持つ、鈴木宏志さんという木山神社の禰宜との出会いで動き始めました。この出会いをきっかけに、賛同する人たちが集まり、まにわブライダルプロジェクトの「まにわ婚」が始まりました。

ブライダルプロジェクトで広がる輪

「式場や披露宴会場、料理や美容、装花や写真招待状の作成も真庭でできます。引き出物も真庭セレクト。真庭で全部集めようということ」で、

当日の会場で新郎新婦のサポートをする櫻井さん



新郎新婦入場前の打ち合わせ

櫻井 彩子さん(久世)

まにわブライダルプロジェクト
ブライダルプランナー

櫻井たんす店で行われていた貸衣裳業を継承し、「ブライダルプロデュースカレン」を開業。多くの婚礼に関わってきた。2014年から仲間とともに「まにわブライダルプロジェクト」を開始。

それまで会ったことがなかった人たちともたくさんご縁をいただきました。プロジェクトを通じ、櫻井さんは、まだ知らなかった真庭の人や場所に出会うようになりました。「結婚式のプロデュースは楽しいです。責任もあって、プレッシャーを感じることもあるけど、準備をする内に、新郎新婦さんと仲良くなったり、その後も会いに来てくれたり。これまでの思い出を話す櫻井さんは、ずっと笑顔でした。

